

### 学校長に働きかける！ すべての学校で35人学級を

日本共産党津山市議員 久永良一



質問↓学力向上が声高に言われているが、その「質」が問題である。学力調査、数学Aの正答数が0〜12問以下の生徒が19%も

おり、授業中徘徊するなど勉強から「逃走」する子ども、理解の遅い子どもや低学力層の生徒を見捨てず、底上げを図るのが「学びの共同体」である。他者と協同する中で、教師と子ども、子どもと子どもとの人間関係が良くなる。それが、精神的な安定をもたらす。それに引き続いて知識の獲得や学力の向上につながる。全ての学校長に「学びの共同体」に取り組むことを働きかけるべきでは。

答弁↓学校長に働きかける。教職員に県外の先進校で研修する機会を設ける。

質問↓県教委と交渉して、少人数指導加配教員を活用して少人数学級を促進することを申し上げてきた。25年度から、全小中学校で35人学級を実施すべきでは。

答弁↓25年度は、小学校ではほぼすべての学級で35人学級になる予定。中学校では一律にはできない。

### 悪質な不法焼却をしたら

新政クラブ 津本憲一

質問↓悪質な不法焼却をして罰金刑を受けた津山市議会議員がいるのか。

答弁↓市では把握できていない。

質問↓津山市議会には議員倫理規定がないが、津山市には「津山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」がある。悪質な不法焼却をした津山市議会議員がいたならば市長はどう思うか。

答弁↓議員倫理規定の有無にかかわらず、何人でも違法行為は許されない。

質問↓一昨年、津山市議会議員の中に悪質な不法焼却をした者がいるという噂を市民が聞き、私に確認依頼があった。津山市議会議員全員が疑われたのである。市民に真実を伝えるため、私は事実確認のできる環境を整えた。議長、この問題を解明するため、議論できる場を設けてほしい。

議長↓機会があれば皆さまに相談したい。

質問↓民生委員は町内の方の悩みを一人で解決している。問題解決に町内会長、愛育委員の方と情報共有しては。



答弁↓守秘義務のため、町内の方の問題を共有するのは難しい。

### 施政方針の「子ども支援施策」ときわ園 「通級指導教室」等を問う！

市民と歩む会 黒見節子



質問↓子ども・子育て審議会での支援事業計画の策定に当たり、市の課題は。

答弁↓小学校就学前教育・保育、保護者への子育て支援に関する総合的な提供の推進が重要。

質問↓一宮保育所の今後は。

答弁↓総合計画（後期）で幼保一体化施設整備事業として採択。子ども、子育て支援事業計画策定の整合性を図りながら、施設規模、場所等の方向性を示したのち、地元町内会や保護者代表等で検討。

質問↓ときわ園の新築移転、今後は。

答弁↓定員80人、鉄筋コンクリート2階建て、全室個室ユニットでショートステイ5床を設置。平成27年3月までには入居を完了したい。

質問↓北小の通級指導教室設置に関わって特別支援教育の予定は。

答弁↓北小に教員研修会や就学相談等、センター的な機能を持たせる。西小は言語指導、北小は学習障害に対する指導等、機能面を分化する。

質問↓学校給食のための相談組織は。

答弁↓新年度の早期に「学校給食充実のための懇談会」（仮称）を立ち上げる。